

執筆者紹介

- 横溝 史子 神奈川大学大学院欧米言語文化専攻前期課程修了
(2012年3月)
- 門馬 真帆 神奈川大学大学院欧米言語文化専攻前期課程修了
(2012年3月)
- 今田 健蔵 神奈川大学大学院欧米言語文化専攻前期課程修了
(2012年3月)
- 宮木 慎 神奈川大学大学院欧米言語文化専攻前期課程修了
(2012年3月)
- 于 飛 神奈川大学大学院中国言語文化専攻博士後期課程3年
翁 嘉 浙江旅遊職業学院外国語学部助教
神奈川大学大学院中国言語文化専攻博士前期課程修了
(2012年3月)
- 崔 春子 北京師範大学漢語文化学院漢語国際教育専攻博士前期課程
3年(神奈川大学大学院中国言語文化専攻交換留学生)

編集後記

今年度から『言語と文化論集』の編集委員として、作業をさせていただくことになりました。今回は、英文学、言語学、英語教育学、中国文学、中国語学の分野から7本の力作を投稿していただき、誠にありがとうございます。また、本号の発刊にご尽力いただいた関係者の皆様にも、深く感謝いたします。大変充実した論集になり、読者に対しても多くの刺激を与えてくれるものと思います。次号以降も多くの方からの投稿をお待ちしております。また、論文を読まれた方からのご意見・ご感想もお待ちしています。

(編集委員 西野清治)

投稿規定

1. 投稿は本大学院に在籍する者か、本学教員に限る。ただし、指導教授の推薦により、博士前期・後期を修了した後の2年間は投稿できるものとする。
2. 論文は原則として、専攻分野に関わる領域を対象としたものとする。
3. 完全原稿を提出すること。

- ・ 長さは、日本語・中国語の場合はA4版（横33字、縦29行）で20枚（2万字程度）、その他の言語の場合はA4版（横68字、縦25行）で30枚程度とする。
- ・ 原稿には英文の標題をつけ、ローマ字表記の名前を明示する。

（例）

Verbal Irony and Echoic Use KANAGAWA Tarou

The phonological system of Hum mong ja hoe KANAGAWA Hanako

- ・ 校正は再校まで執筆者が行うこととし、その際、コンピューター処理に関わるもの以外の加筆・削除は認めない。
- ・ 原稿を提出する際は、次の3点を提出すること。

ア) 完全原稿を出力したもの 1部

イ) 原稿表紙（名前・所属・連絡先・論文標題を記した一覧表）
1部

ウ) 外部メモリ（USB等）にア)とイ)を保存したもの（後ほど返却）

4. 原稿提出締め切り：11月30日（厳守）

（執筆者は7月31日までに編集委員に提出論文の概要と予定字数を予告すること。）

（2011.12.14 研究科委員会承認）

神奈川大学大学院
言語と文化論集 第19号

2013年2月 印刷
2013年2月 発行

編集発行 神奈川大学大学院
外国語学研究所
(横浜市神奈川区六角橋 3-27-1)

製 作 共立速記印刷株式会社